

平新報

信仰の人々へ (20)

迷信 十

片岡謙三郎

教化運動

教化運動は口で授け理を教へる的努力を持つて人を迷はしめ、何年何月何日すべき條理があるのは事實だ。佛教に見ない、臟腑を喰つても病氣感思惑と云ふのがある、見は治らない、腎肉を切つて感思と理屈の間違ひ、道理も通つても効かないと教へる上の誤解であるから理屈でか教へただけで何にもならぬ間違つてゐるの理屈で打破ない、夫れを化即ち今迄の出来ると云はれてゐる、所が弊弊を矯正して感化と行かぬ。迷信は非科学的だから科学で打破してはならぬ。

教化風化淳化、偉い人の出来、即ち真理の前に以て教へ教へると自然に感化しやうと行くから之を感化されて行く處に偉大なる漸と云ひます。石を破る如力がある。彼の吉田松陰がしと云ふので頓断破石と云はか二年か三年内に長州藩を言葉がある。所が迷信はの土風を吹散感化させて其理屈で間違つてゐるの尙門下に久坂玄瑞、高杉晋作つてゐる、之を感思と云ふの志士が輩出して明治維新です、例ひば大酒を飲んでの大業を完成した所云勤王は悪い、大酒飲みは長活の淳風教化である、行年僅出来ぬ。子孫の體育上悪いが三十年今猶世田ヶ谷に松精神病や結核の基をなすと感思として萬人信仰の感知なりながら止められぬ、何となつて時代思想の感化と感思とを止められぬか、ただこれとしての偉業である、教化と感思とを感思と云ふ事は或意味からは修養とも感思である。感思漸の意味が強く含まれてゐる。断断の如し、即違の糸の糸で教へ理屈をのみこま、如く違は折れ易いが糸を引せたら夫れで宜敷か、迷信打破も亦其の如しと決してさうでない。

理屈から云ひば天地自然知つてゐるけれども糸を引か我々を感化するが化で即感思を去らなければ迷信ありませぬ。佛教では教へる打破は出来ぬ。茲に吾人は力からは能化、教へる方考へなければならぬ。迷信はからほほ化と云ふ、教化の信の非を打破つたら之に代はの字はさう風に東洋のものを興へなくてはだめ行の意義がある。所云自然だ、吾人が認めて迷信とし感化で口で云ふだけでなくとも其の人は安心してゐる俗習慣から直して行く、だから之を破つて改めて他云ふ行き方である。要するに何物かを興へなければならぬ。如何に先生が迷を破つて疑惑を興へる様なもの質を説き真理を教へるものだ。實に其處に云ふ事も家に歸れば迷信をやる、の出来ぬ却て不安なものだ。習識的には迷信打破は出せ残される。

も實際の打破は出来ぬか、電燈のある世の中に今尙自然感化でなくとも暗燈が使はれて安心してゐる。其の駄目な事を徒らにものがある、其の暗燈を止見るとか、立明して山松釋返してゐるが從來の行きめさせるにしても之を消す。

漢詩

石井 寛長

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

初夏

和歌

雨後夏月

夕立の名残とめて露草の

葉毎にやとる月の涼し

見るかうちに立明して山松

の梢涼しく月をさらせる

初夏

初夏

初夏

内科小児科皮膚科 諸根氏轉居

諸根氏一氏の居所は今同左の如く變更したと

四東京市小石川區白山御殿町一三市電白山下下車

東京聖書校學前

電話五〇七番

學生服

あかや洋服店

平二 電話203

液體空氣會社製

(酸素含有量百分中)

(東京工業試験所證明)

吸入用酸素、酸素吸入器

罐體溫器 開内藥局

電話四〇番

味噌・醬油

平稅務署向通り

山野 邊米店

電話(呼出)七三四

新增築落成

X光線科

平南町 電話二一九番



磐城セメント代理店

西村屋藥舖

平一丁目
長電話參番

膽寫版附屬品一式

スミス式・キング式
清光堂

清水屋書店

平町二丁目
電話百卅一番

内科・外科診療一般

片岡醫院

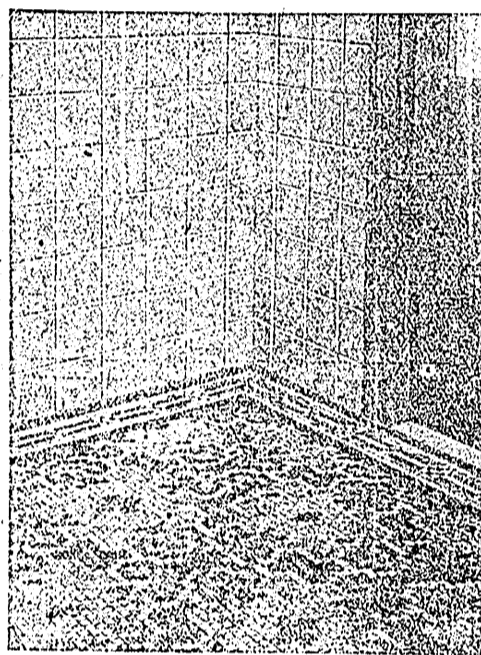
片岡鎌三郎
電話一三三番
湯本町驛前通り

平町田町

高久病院

電話五一三番

タイル界の權威
淡陶・製品



淺野町突
野内建材商店
電話(呼)五五七

◎独自の廉價...白熱の七日間!!

夏物新安値品の大賣出し

七月一日より七日間

特價品

着尺新柄 貳圓九拾錢
江戸中形 四圓
手拭 十圓
白キヤロコ足袋 十五圓
白キヤロコ足袋 八圓
黒朱子足袋 五圓
模本銘仙 三圓
模本銘仙 三圓
外に大提供品豊富 御早いがお徳

◇かや大廉賣

本麻 六八 五圓八十錢

好評々々大好評

婦人俱樂部浴衣(御買上の方に限り)
御禮のため二重福引大賣出し

發賣元の大本雄辯會講談社

懸賞金 貳萬圓

東北特約店

三井吳服店の福引

一反毎に福引券進呈

景品

一等 婦人俱樂部浴衣
二等 大典しほり
三等 白地反物
四等 化粧用ガーゼ手拭
本反反反

三井吳服店

平町三丁目
電話三八・七五一番

ヤマフル醸造元

山崎合名會社

平町電一〇番二七番

四倉町
磐城セメント會社四ツ倉工業所

栗野良平

内郷村白水
五十嵐炭礦々業所長

高階一郎

暑中御伺

内郷村

杉山炭礦々業所長

杉山今朝吉

平町城山

山崎光雄

平町舊城跡

山崎宣吉

平青年團長

藤田榮助

平町會員議

平藝妓屋組合

平町城山

高玉德彌
明治生命保險不駐在員

平町旅業組合